

但馬地域のヒメミズワラビ

林 美嗣

(植物リサーチクラブ・ひとく地域研究員)

はじめに

ヒメミズワラビは、兵庫県版レッドデータブック 2003 でCランクに指定されているが、但馬地域ではあちらこちらで見ついている。1979年の「日本のシダ植物図鑑」では、日本の自生地は、新潟県が北限となっている。

但馬地域のヒメミズワラビの発生場所、生育時期などを調べ、分布の現況についてまとめてみた。

調査方法

・環境庁第3次メッシュ地図の区画（国土地理院 1/25,000 地形図 1枚を縦横各 10 等分した区画）ごとに、ヒメミズワラビ発生の有無を調べた。

・各調査区画は、水田を中心に、休耕田、湿地、畑などを調べた。

・生育地点については、標高 (a, b, c) や河口 (海岸) からの距離 (A, B, C) について、1/25,000 地形図により次のように分類した。

a 0~200 m b 200~400 m c 400 m 以上








A 北緯 35° 40' ~30' B 30' ~20' C 20' ~05'

・生育時期については、水田定点やプランターなどに発生した個体について観察した。

・調査期間は 2002 年~2014 年。













結 果

1 ヒメミズワラビが生えているところー1

  <p>水田 (日高町野々庄 2006.9.24) a, B</p>	  <p>水田 (豊岡市下鉢山 2012.11.23) a, A</p>
  <p>水田 (日高町山宮 2012.10.27) b, B</p>	  <p>用水路 (豊岡市赤石 1995.9.18) a, A</p>
  <p>休耕田 (日高町谷 2005.9.26) a, B</p>	  <p>湿地 (豊岡市梶原 2005.10.6) a, A</p>

・ヒメミズワラビは、主に水田に発生する。

ヒメミズワラビが生えているところ—2

			
水田の畦 (日高町池上 2005.7.30) a, B		大豆畑 (八鹿町国木 2004.9.14) a, B	
			
ソバ畑 (豊岡市赤石 2004.9.19) a, A		大根畑 (八鹿町国木 2005.10.18) a, B	
			
プランター (日高町八代①2004.7.19 ②9.2) a, B		植木鉢 (日高町八代①2004.7.21 ②8.19) a, B	











・ヒメミズワラビが生えている畑は、以前は水田であった。

2 生育地と個体の大きさ


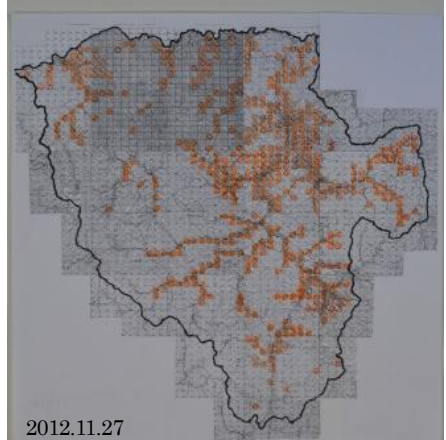
			
a, A (豊岡市下鉢山 2012.8.28) 水田		a, A (豊岡市祥雲寺) 水田	a, A (豊岡市下鉢山) 用水路
			
a, A (新温泉町居組 2002.11.3) 水田		a, B (八鹿町国木 ①2007.1.13 ②10.2) 水田	
			
a, A (和田山町駅北) 水田	b, B (香美町小代区鍛冶屋 ①③2012.10.25 ②2009.10.31) 水田		
			
c, C (生野町黒川字本村 2012.10.11) 水田		c, C (生野町黒川字長野 2012.10.11) 水田	

・内陸の山間部でも、また、標高 500m 付近の高地でも大型のもの見られる。

3 生育状況

 <p>水田</p> <p>2007.7.23 日高町八代</p>	 <p>プランター</p> <p>2014.8.25 日高町八代</p>	 <p>プランター</p> <p>2014.9.26 八代</p>	 <p>2007.9.18 日高町八代で採集 同じ時期・同じ場所に、多様な 形・大きさの個体が見られる。</p>
 <p>プランター</p> <p>2014.10.22 八代</p>	 <p>水田</p> <p>2014.10.22 八代</p>	 <p>水田</p> <p>2014.11.27 八代</p>	
 <p>水田</p> <p>2006.10.15 日高町堀</p>	 <p>湿地</p> <p>2005.11.10 豊岡市梶原</p>	 <p>水田</p> <p>2012.12.21 日高町八代</p>	

4 但馬におけるヒメミズワラビの分布

 <p>但馬の面積は、約 21 万 ha。83%が森林で、平地は円山川下流の豊岡盆地など一部である。</p> <p>水田面積は、総面積の 6% 弱であるが、山腹にまで棚田があり、標高 700m 以上の高地にも稲を栽培しているところもある。</p>	 <p>2012.11.27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 区画は、東西約 1.14 km×南北約 0.9 km。 ・ 636 区画の水田でヒメミズワラビの発生を確認している。 ・ 特に平野部の水田には多く発生している。 ・ 低地の水田に多く見られるが、海拔 545m 付近の水田にも見られる。
---	--

まとめ

ヒメミズワラビは、但馬の水田のほぼ全域に分布する。水田雑草の優先種となっているところもある。また、畑や庭の植木鉢などにも発生することがある。

水田では、一般的に田植え後に発生し、12 月には枯れる。生育の個体差が大きく、同じ場所、同じ時期でも大小さまざまな個体が見られる。

内陸に行くほど、また、標高が高いほど小型のものが多いが、内陸の高地でも大型のものも見られる。また調査していない区画もあり、今後も調査を続けたい。